

やぶふるさと祭

やぶふるさと祭が8月16日、養父地域局前広場で開催され、天候にも恵まれて約1万人の人たちでにぎわいました。当日は、千個を超えるちようちん点灯で開会。ラビットクラブ(八鹿バトンクラブ)の子どもたちが『はばタンダンス』を演じて、国体をPRしました。

続いて、養父中学校吹奏楽部の軽快な演奏、『さ・かあちゃんず』によるよさこいソーラン踊り、坂本冬美そつ



夜空いつぱいの花火が魅了しました

撮影：米田憲明さん(広谷)



会場を沸かした坂本冬美そつくりショー

くりショーで会場周辺はお祭りの熱気でいっぱい。盆踊りの後、皆さんお待ちかねの1,500発の花火が夜空を彩り、あまりの美しさと迫力に、大きな歓声が上がっていました。最後は、ふるさと太鼓衆燦舞太鼓が迫力満点の演奏で祭りを締めくくり、過ぎゆく夏の一夜を楽しみました。

夏の思い出

各地で夏祭り

多彩なイベントが祭りを盛り上げます



さわやか会による見事な踊り

グリングショー、酒井くにお・とおるさんの漫才ショー、氷ノ山太鼓チームの迫力ある和太鼓演奏などが行われ、ステージ前は多くの人でにぎわいました。関宮音頭とよさこい踊りが披露された後、夜空を焦がす999発の花火が打ち上げられ、歓声とともに今年の夏祭りの幕が閉じられました。



酒井くにお・とおる漫才ショー

せきののみち

ふれあいまつり

15回目を迎える「せきのみやふれあいまつり」が8月28日、旧関宮小学校グラウンドで開催され、約3千人が涼を求めて会場を訪れました。関宮小学校マーチングバンドと関宮中学校吹奏楽部の演奏で祭りはスタート。特設ステージでは、商工会青年部による〇×クイズ、ジャ